

2008 四季のコンサート だより

春
夏
秋
冬
24

2008年10月1日発行

浜松音楽友の会

事務局 〒430-0804 浜松市中区中沢町44-11

電話連絡 (053)473-3579(原)

e-mail: hamatomo@palette.plala.or.jp
http://www6.plala.or.jp/hamatomo/

風にのせて……

声楽家 天羽明恵

4月なのに初夏の日差し、空は碧く高く、素晴らしい新緑の浜松にお邪魔しました。

「四季のコンサート」の年度初回ということもあり、大勢のお客様にいらして頂きました。会のお世話係りの皆様の温かいお心遣いに、仲道さん共々気持ちよくコンサートに臨むことができました。本当にありがとうございました!!

92年より、文化庁海外派遣研修員としてドイツ・シュトゥットガルトへ留学し、そのままドイツ国内を引っ越しながら早いもので15年、今に至っています。一年のうち何度か日欧と往復し、人々、都市、様々な事を見て回ってきました。そんなちょっとした事をここで書き記してみたいと思います。

春! ドイツの長く暗く寒い冬を終え、春がある日突然音を立ててやってきます! 裸の街路樹になんだか緑の露がかかってくるのが春分の日から数週間目。陽は日に日にどんどん長くなってきて、人々の春への期待が膨らんできた時、爆発はやってきます。ボンッ! マロニエの葉が一気に弾け、それも一日10cmニョキッと伸びるんですよ。ドイツ歌曲には春を歌った曲が数多くあるのですが、それは春への憧れ、喜び、冬を越せ生き延びた安堵と様々。あの冬を越して眼にした「緑」が、ゲーテやハイネも目にし詩にしたのかと思うと、春の歌への思い入れが強くなり、「緑」と歌うたびにあの爆発の感動が訪れます。日差しが強くなってくと芝生の上での日光浴。まだ気温はそれ程高くなっていないのに、我先にお日様の恩恵に与ろうと、タンクトップや上半身裸の人を多く見かけます。その時期に風邪引きが多くなるのは当然! そして夏になると、アスファルトの道を裸足で歩く人を見つけてビックリしたのも一年目。吸殻やガラスが

落ちていし、唾を吐く人、犬だって辺り構わずマーキングしている、その道を裸足?! その足で家の中に入るの? 綺麗好きなドイツ人の意外な面に目を丸くしていました。陽が延び続けると、何と言っても「テラス」でのお喋り。夏は夜12時過ぎまでキャンドルをつけ外に座り友人らと音楽、人生、恋愛についてグラスを片手に語り合う。

シュナップスと呼ばれる果樹の蒸留酒の味を覚えてしまったのも夏のテラスでの出来事。

ドイツに行った私が一番に驚いたのは、お店の営業時間。スーパーも近所のパン屋さんも6時になると閉まっていた。土曜日は12時までで、日曜日はどこもお休み。曜日をしっかり把握して行動しなければ食べるものがなくなってしまうのです。当初、学校帰りに閉店時間直前に駆け込んでも門前払い。レジを閉めるからもう買わない! コンビニなんか無いのですから、同居人のご飯のお裾分けをありがたく頂きました。今でこそ日本の様にデパートもパン屋さんも、夜8時や10時は当たり前、土曜日も営業している所が増えてきましたが、行った当初は不便! と思っていたこのシステムも、なくなってしまふと何とも味気ないです。それにドイツ中、もしかすると世界中、どの都市に行っても同じお店が目につく位、街の個性が少なくなってきているのは寂しいですね。

女性を褒め称え、愛を語る言葉(千年前には日本文学には存在していますが)、自然を畏敬し哲学を、人生を語る原語。私生活で称えられた事は少ないですが、舞台上での恋愛歴は数限りなく、恋愛の形態も様々! 舞台上で私の演じる役に、多くの歌を通して愛の言葉を、西洋の愛情表現を知る機会を得ています。「言ってなんぼ」の西洋文化ですから。

今では恋にあこがれる15歳の役から愛に燃える女性まで(最高年齢は26歳)、演じ分ける楽しさや技術がありますが、ダブルキャストの演技の大胆さに度肝を抜かれ、頂いた役を降りようか、と真剣に悩んだ95年ドイツデビューでのオペラ。(舞台上)疑似恋愛の経験の少なかった私には本当に大変なラブシーンでした。

四季を体感しながら、その土地の言葉を喋り、生活してきたドイツが私の第二の祖国の様に感じられる今、あの日の浜松の風が私をベルリンへ運んでくれたようでした。



「春のコンサート」4月19日

ピアノの想い

毎回演奏会の度に、それぞれに特別な想いが込められますが、特に今回の生まれ故郷浜松での「四季のコンサート」の演奏会は格別の想いでした。「四季のコンサート」は25年もの長きに亘りスタッフの皆様と会員の方々の音楽への熱い想いで支えられ、浜松の音楽文化を発展させてこられたと思います。そのような伝統ある会で演奏させて頂けたことは大きな喜びであります。

今回の演奏会前に私の恩師ウゴルスキ先生が私の為にショパンのワルツを弾いて下さいました。それぞれのワルツは2分から3、4分というとても短い曲で、一言にワルツといっても一曲一曲、全く異なる曲想があります。その



「浜松出身の演奏家シリーズ」7月20日

音楽の中には愛を語り尽くすほどの壮大な恋の詩(うた)、人間の様々な繊細な感情の動きや変化、民族的な踊りの要素、溢れんばかりの喜び、憧れ、イロニー、滑稽さ、遊びの要素を表現し尽くされています。

ピアニスト 今仁喜美子



偉大な芸術として書かれたこのワルツをピアノを通して語られたウゴルスキ先生の音楽は、私にとってはこの世に存在しえないほどの美しいものであり、無限の表現の可能性に感銘を受けるとともに衝撃を受けました。技術だけでは表現することのできない、魂の深いところからの

個人の生の声、音楽の命の根源ともいうべきミステリーゾーンから生まれてくる神秘的な表現、音楽の真髓に出会った貴重な体験でした。

ウゴルスキ先生にはピアニスティックなことはもちろんのこと、多くのことを魂から魂に直に伝えて頂きました。ピアニスト、音楽家である前に、生命力あふれる人間らしい人間であることが音楽を深く豊かに奏でることに反映するという事を感じ取りましたし、彼の音楽はピアノの音を超越して音楽という人間の心の詩が人間性の哲学的な深さと共に、心に染み入ります。

いつの瞬間も音楽は生きており、その音楽空間を歴史的、芸術的背景の中に存在する様々な感情を私の個性でもって皆様にお伝えできるよう、これからも精進したいと思っています。

音楽の楽しみ

小学校のころから童謡や学校で習う音楽、ラジオ・ドラマの主題歌を歌ったり、中学、高校の部活では合唱やブラスとも関わってきました。音楽があると心が楽しくなる、気持ちが落ち着くという経験をよくしました。

でも、生の演奏を聴くという機会はそんなにはありませんでした。一年に一度あるかどうかでした。

それが、十数年前、地元の小さな公民館で開かれたコンサートに誘われて、そこで一人のピアニストの演奏に心をひかれ、たびたび聴きに行くようになりました。小さな会場で、ピアノも古いものでしたがその人が弾くと、他の演奏者と違うすばらしい音が流れるのです、本当に音楽が好きで、それを多くの人に味わって欲しいという姿勢にも感心しました。音楽はやはりすばらしい。それが四季のコンサートとの出会いに繋がりました。

又、そのコンサートの会場には子供も大勢いたのですが、みんな静かに熱心に聞き入っていて感心しました。

友の会会員 山下真治

これが音楽の持つ力だと思います。四季のコンサートもさまざまな年齢層の人が楽しめる雰囲気があります。また、一年に5回のいろいろな演奏家の方の演奏を聴く事が出来るのも良い事だと思います。クラシック音楽のジャンルの広さに触れる事ができます。私の好きな川島成道さんのヴァイオリンの演奏も聴きました。初めて聞いた名前の演奏家の方がその後それぞれに活躍されているのを見聞きするのも楽しみです。すばらしい楽曲、すばらしい演奏、良い観客が良い音楽を作ります。

最近では演奏だけでなく演奏者のお話も楽しみです。四月の天羽明恵さんと仲道郁代さんのデュオリサイタルは演奏もすばらしく、二人の話も最高でした。

さまざまな年齢層の人が音楽の楽しみを知る事ができるコンサートがこれからも続いていくよう願っています。陰で支えてくれる皆様に感謝しつつ、良い音楽とふれあえる時の喜びを味わい続けたいと思います。

高校3年 上野史織

私は小学校の頃、初めて「四季のコンサート」を知り、それ以来家族で様々なコンサートを楽しませていただいています。

幼い頃からピアノを習っていたこともあり、年に数回ピアノのコンサートに出かけるなど、演奏会に足を運ぶ機会に恵まれていた私ですが、四季のコンサートを聴くたびに、それまでのものとは違う世界が私の中に入ってきました。

今まで生で聴いたこともない楽器やアンサンブルに出会ったり、曲間のトーク、演奏者の曲への想いやエピソードなどに驚いたり感動したり、時には身近に感じたり、今までとは違う音楽とのふれあいに感動の連続でした。昨年、千住真理子さんのコンサートがありました。以前

新聞に連載されていた「こころの玉手箱」という手記を読んだこともあって特別な想いで足を運びました。なじみのあるプログラムの内容、心のこもった美しい音に真理子さんの音楽に対する純粹さや本当に好きなヴァイオリンを奏でることができる喜びを肌で感じる事ができ感動しました。

私は今、将来に向かって音楽の勉強をしています。音楽を好きになり、この道を選択させてくれたのは、幼い頃から良く聴いていた、このようなコンサートのお蔭だと思います。これからも自分の大好きなピアノを正直な気持ちで弾き、聴く人に何かを感じさせる…そんな成長が出来たらいいなと思っています。

これからのコンサート予定

秋

久保田巧 & パウル・グルダ デュオリサイタル

10月9日 (木) 6:45 PM

1984年、難関ミュンヘン国際コンクールで日本人初の優勝を果たしたヴァイオリンの久保田巧とソリスト、室内楽奏者、作曲家として国際的な活躍を続けるパウル・グルダによる豪華なデュオ。ウィーンを第二の故郷とする久保田と生粋のウィーンっ子グルダによる芳醇なウィーンの薫をお楽しみください。

プログラム

- 1部 モーツァルト/ヴァイオリンとピアノの為のソナタ ヘ長調 KV377
ゴルトマルク/組曲 Op.11
- 2部 ブラームス/ヴァイオリンとピアノの為のソナタ 第1番 ト長調 Op.78 「雨の歌」
クライスラー/ウィーン奇想曲
美しきロスマリン
愛の喜び



久保田 巧



パウル・グルダ

冬

ミラノ弦楽合奏団 (旧ミラノ・スカラ弦楽合奏団)

12月4日 (木) 6:45 PM

世界に冠たるイタリアオペラの殿堂、ミラノ・スカラ座オーケストラメンバー13名を中心にした日本でもおなじみのミラノ・スカラ弦楽合奏団が名前を一新！歌心溢れるイタリアの魅力をつぶりきかせる。艶やかで明るい音色、豊かな響きは世界中のファンから熱狂的に支持されています。友の会25周年を飾る豪華なプログラムをご堪能ください。

プログラム

- 1部 モーツァルト/セレナード 第13番 ト長調 K.525 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
バッヘルベル/カノン
ポッケリーニ/メヌエット
マスカーニ/オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲
- 2部 ヴィヴァルディ/ヴァイオリン協奏曲集「四季」op.8 (ヴァイオリンソロ:ピエロ・トージ)



2009年 四季の二十 予定

春 小山実稚恵 ピアノリサイタル 4月18日(土)

1982年チャイコフスキーコンクール第3位、1985年ショパンピアノコンクール第4位と日本人として初めて二大国際コンクールに入賞。現在、名実ともに日本を代表するピアニストとして目ざましい活躍を続けています。2005年には文化庁芸術祭音楽部門大賞を受賞し、国内外で更に高い評価を受けました。友の会には16年ぶりの再登場となる今回、卓越したテクニックに裏付けられた華麗なステージとスケールの大きな演奏には誰もが魅了されることでしょう。

夏 “イタリアの風” ゴマランブラス(金管五重奏)演奏会 6月26日(金)

今回初来日となるゴマランブラスは「名人芸(妙技)と、とてつもない音楽を持ち合わせた素晴らしいブラス・グループだ!」と、世界的指揮者ズービン・メータから大絶賛を浴びたイタリアの5人組ブラスです。トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバからなる彼らのプログラムは地元イタリアのオペラの名曲を中心に盛りだくさんの楽しい舞台を繰り広げます。一瞬たりとも目を離せない陽気なステージをお楽しみください。

秋 中嶋彰子 ソプラノリサイタル 10月29日(木)

1990年全豪オペラコンクールでの優勝を機に、シドニーとメルボルンの両オペラハウスと契約を交わし、「皇帝ティートの慈悲」のセルヴィリアでデビュー。その後、ウィーン・フォルクスオーパーの専属歌手として、優れた歌唱力と演技力、自由で華やかな存在感で圧倒的な人気を獲得しています。現在フリーの歌手として、オペラやリサイタルまたオーケストラとの共演などで大活躍。第14回出光音楽賞受賞。

冬 竹澤恭子(ヴァイオリン) & イタマール・ゴラン(ピアノ) デュオリサイタル 12月予定

現在ニューヨークを拠点に国際的な活躍を続ける世界のKyoko Takezawa。国内外の主要オーケストラとの共演、世界のトップソリストたちとの室内楽、リサイタルと幅広く活躍を続けています。2007年より3年間にわたりデビュー20周年記念リサイタルとして各シリーズ公演をスタート、今回は(2009年)、実力派ピアニスト、イタマール・ゴランを迎えて「ブラームス三大ソナタ」に挑みます。

浜松出身の演奏家シリーズ

芹澤美帆 クラリネットリサイタル 9月12日(土)

浜松市立新津中学校、浜松学芸高校音楽科、愛知県立芸術大学卒業後、東京ミュージック&メディアアーツ尚美ディプロマ科卒業。読売新人演奏会出演。第21回静岡県学生音楽コンクール高校生の部第3位、第1回、第3回ヤングクラリネットリストコンクール入賞。第24回日本管打楽器コンクール第4位に入賞。現在東京、浜松を中心に数々のコンサートに出演。今後の活躍が期待されているクラリネット奏者です。現在浜松学芸高校芸術科講師。

各回共 於：はまホール

★会員の皆様へのお願い★

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内で、テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所・氏名・電話・会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡ください。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所・氏名・電話・会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛にお送りください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、岡本 ☎053(466)5417までお申込みください。

開場時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

個人情報取り扱いについて

当会は個人情報の取り扱いについて「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令及びその他の規範、ガイドラインを遵守し、個人情報について適切な管理・取り扱いと保護に努めます。